



特定非営利活動法人

たはら国際交流協会広報誌

Tahara
International
Association



Bridge
かけ橋

第
106
号
2019.2月

田原市田原町汐見5番地
(田原文化会館内)

Tel ▶ 0531-22-2622

Fax ▶ 0531-22-2625

E-mail ▶ info@tahara-tia.jp

たはら国際

検索

姉妹都市韓国ソウル特別市銅雀区

姉妹都市の一つ、韓国ソウル特別市銅雀区を紹介します。

1985年から田原日韓親善協会が銅雀区の韓日親善銅雀区協会と交流を続けていたことが縁で2006年11月14日に姉妹都市の調印式が行われました。

●大都会の住宅街

銅雀区は、面積16.4km²人口407,894人で、緯度は、新潟市辺りです。大韓民国ソウル特別市内を東西に流れる漢江(ハンガン)南岸にある区で、漢江との結びつきが強く、ソウル最大の鷺梁津(ノリャンジン)水産市場があります。区の木はマツ、区の花はキクで親しみを感ずります。

大都会ソウルの中心へ通勤する人が多く、高層マンションが林立するなどベットタウンとしての役割が大きい町です。

●田原日韓親善協会の交流も盛んです

交流は、市の交流の他に、田原日韓親善協会の交流が盛んで、交互に訪問をしています。2017年は、銅雀区の方々が、田原まつりに合わせ田原市を訪れ、花火に感激していました。2018年には、親善協会が銅雀区を訪問するなど、30年を超える交流を続けています。



ソウルの築地 鷺梁津水産市場

たはらの you

ムーン ラクスメイ さん

プロフィール

出身国 ▶ カンボジア 在日期間 ▶ 2018年8月～ 自国での家族 ▶ 父、母、妹2人

私は田原市の農家で、もう一人のカンボジア人、フィリピン人、中国人の3人と一緒に生活しています。今の仕事は、ダイコンの収穫です。ダイコンはカンボジアのものより太くて長いので作業は大変です。夏にはスイカも作るそうです。スイカは好きなので、楽しみにしています。

この間、日本のお父さん(雇用主)が私たちを箱根の温泉に連れて行ってくれました。温泉は、温かくて気持ち良かったです。富士山も見ることができました。温泉には、また行きたいです。その他にも、日本にいる間に、着物を着てみたいです。

日本に来て驚いたのは、風が強くて寒いことと、町の中にゴミが無いことです。仕事が休みの日には、スーパーで買い物をします。食材を買って、自炊をしています。みんなもそれぞれの国の料理を作り、食べています。カンボジアの家族とは、毎日SNSで連絡を取っています。



ムーン ラクスメイさん

TIA恒例！クリスマス会開催

2018年12月15日(土)中部市民館で、たはら国際交流協会主催の「クリスマス会」が開催されました。田原市の外国人と日本人が、一堂に会するイベントとして楽しみにしている方が増えてきたようです。おかげさまで、今年の参加者は大人から子どもまで150人を超え、とてもにぎやかで楽しい会になりました。

ファイヤーパフォーマンスで開幕し、参加者お手製の各国料理に舌鼓を打ち、会話も弾みました。ズンバダンスで盛り上がり、ビンゴゲームでは大きな商品をゲットし、会場が沸きました。そしてフィナーレは、はやりの「U.S.A」に合わせて一緒にダンスを踊り、瞬く間に時間が過ぎてしまいました。今年もみんなで一緒に楽しみましょう！



みんなで楽しくUSA

「にほんごボランティア理解講座」参加者募集

「にほんごボランティア」ってなあに？英語ができないけど大丈夫？何に気を付ければいいのか？興味はあるけど、そんな疑問や不安があって一步を踏み出せないあなた。まずは、にほんごボランティアを理解することから始めてみませんか。

日 時 ▶ 3月3日(日)13:30～15:00

会 場 ▶ 田原文化会館 101会議室

参加費 ▶ 無料



にほんご教室の様子